

薬には病気を治したり、^{しょうじょう}症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や^{やくざいし}薬剤師に相談してください。

エビリファイ持続性^{すいけんきんちゅうよう}水懸筋注用 300mg シリンジ、400mg シリンジ

一般名： アリピプラゾール水和物 (Aripiprazole Hydrate)	販売名	エビリファイ持続性水懸筋注用 300mg シリンジ	エビリファイ持続性水懸筋注用 400mg シリンジ
---	-----	---------------------------	---------------------------

1.どんな薬

- この薬は、脳内の神経伝達物質であるドパミンなどの受容体に作用し、^{げんかく}幻覚・^{もうそう}妄想などの^{しょうじょう}症状を抑え、不安定な精神状態を安定させるとともに、やる気がしない、何も興味が持てないといったような状態を改善させます。[持続性^{ちゆうせいしんびようやく}抗^{こう}精神病^{しんびょうやく}薬]
- ^{とうごうしつちようしよう}統合失調症、^{そうきよく}双極 I 型障害における気分エピソードの再発・^{さいねんよくせい}再燃抑制の^{ちりよう}治療に用いられます。

2.この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊖ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や^{やくざいし}薬剤師に相談してください。
 - ・^{こんすい}昏睡状態の人
 - ・バルビツール酸^{ゆうどうたい}誘導体^{ますいざい}や^{ちゆうすうしんけいよくせいざい}麻酔剤などの^{ちゆうすうしんけいよくせいざい}中枢神経抑制剤が強く効いている人
 - ・アドレナリン（アナフィラキシーの救急^{ちりよう}治療、または^{ますい}歯科領域での^{ますい}麻酔に使う場合を除く）、クロザピンを使っている人
 - ・過去にエビリファイに含まれる成分で^{かびんしょう}過敏症のあった人
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や^{やくざいし}薬剤師に相談してください。
 - ・心臓や血管の病気の人、低血圧の人またはそれらが疑われる人
 - ・てんかんなどのけいれんを起こす病気を有する人、過去にてんかんなどのけいれんを起こしたことがある人
 - ・^{とうようびよう}糖尿病の人、過去に^{とうようびよう}糖尿病になったことがある人、^{けつえん}血縁に^{とうようびよう}糖尿病の人がいる人、^{こうけつとう}高血糖の人、^{とうようびよう}肥満の人など^{とうようびよう}糖尿病になりやすい人
 - ・死にたいと強く思ったり考えたりしたことがある人
 - ・長時間動かないでじっとしている人、^{びようしよう}長期間^{びようしよう}病床にある人、^{だつすい}肥満の人、^{だつすい}脱水状態の人
 - ・^{かんぞう}肝臓に障害がある人
 - ・^{にんが}妊婦または^{にんしん}妊娠している可能性がある人
 - ・授乳中の人
- この薬には一緒に使用してはいけない薬や、一緒に使用する場合に注意が必要な薬や飲み物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や^{やくざいし}薬剤師に相談してください。

3.この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような^{しょうじょう}症状があらわれることがあります。これらの^{しょうじょう}症状に気づいたら、医師や^{やくざいし}薬剤師に相談してください。

主な ^{しょうじょう} 症状	考えられる副作用など
吐 ^は き気、口から出る息が甘くてすっぱいにおいがする、深く大きい呼吸、意識がなくなる	^{とうようびようせい} 糖尿病性 ^{けつアシドーシス} ケトアシドーシス、 ^{とうようびようせい} 糖尿病性 ^{こんすい} 昏睡
体が重くて動きたくない感じがする、体重が減る、のどがかわく、水を多く飲む、 ^{によう} 尿の量が増える、 ^{によう} 尿の回数が増える	^{こうけつとう} 高血糖

お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、ぼんやりしてまわりのことがよく分からなくなる	低血糖
社会的に困ったことになるにもかかわらずギャンブルを繰り返す、いつもより異常に性的な気持ちや興味が強くなる、計画せずに必要以上に何度も買い物をしてしまう、いつもより異常に食べたくなる	衝動制御障害
体重が増える、体重が減る	体重の変動

〈この薬を使用されるすべての方に共通〉

- この薬は、投与後の効果が1か月持続します。投与後も薬が完全になくなるまでは、副作用が起こる可能性があります。体に異常を感じたら、すぐに医療機関を受診し、この薬を使用していることを医師に伝えてください。
- 自動車運転等：眠気、注意力・集中力・反射能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転など、危険を伴う機械の操作は行わないでください。
- 他の抗精神病薬を使用していて、この薬を使用し始めた場合などには、月経が再開する、月経量が増える、貧血、子宮内膜症があらわれるおそれがあります。このような場合には、医師に相談してください。
- この薬の使用により、ものが飲み込みにくくなる場合があります。むせたり、咳き込んだり、ものが飲み込みにくいことがある場合は医師に相談してください。特に、もともと、ものが飲み込みにくい人や、口腔ケアが不十分な人などでは、飲食物、たんや唾液、胃液などが誤って気管に入ることによって、肺炎になる場合がありますので注意してください。

〈統合失調症の場合〉

- 興奮しやすい、敵意をもつ、誇大性（自分を過大評価する妄想）などの精神症状の悪化が見られたら、医師や薬剤師に相談してください。

4. ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較的よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
足がムズムズしてじっとしてられない感じがする、じっと座ってられない	アカシジア
注射した場所の痛み	注射部位疼痛
注射した場所の赤み	注射部位紅斑

5. 保管方法

—

6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：大塚製薬株式会社 (<https://www.otsuka.co.jp>)

電話：0120-922-833（医薬情報センター）、受付時間：9時～17時（土、日、祝日、休業日を除く）

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>